

中央図書館基本構想基礎調査業務 市民調査概要版

平成30年3月

堺市

調査実施の概要

- 調査目的 広く市民のニーズや要望等について調査・分析することで、「中央図書館基本構想（図書館サービス機能）」を取りまとめるための基礎資料とすることを目的に実施した。

市民調査

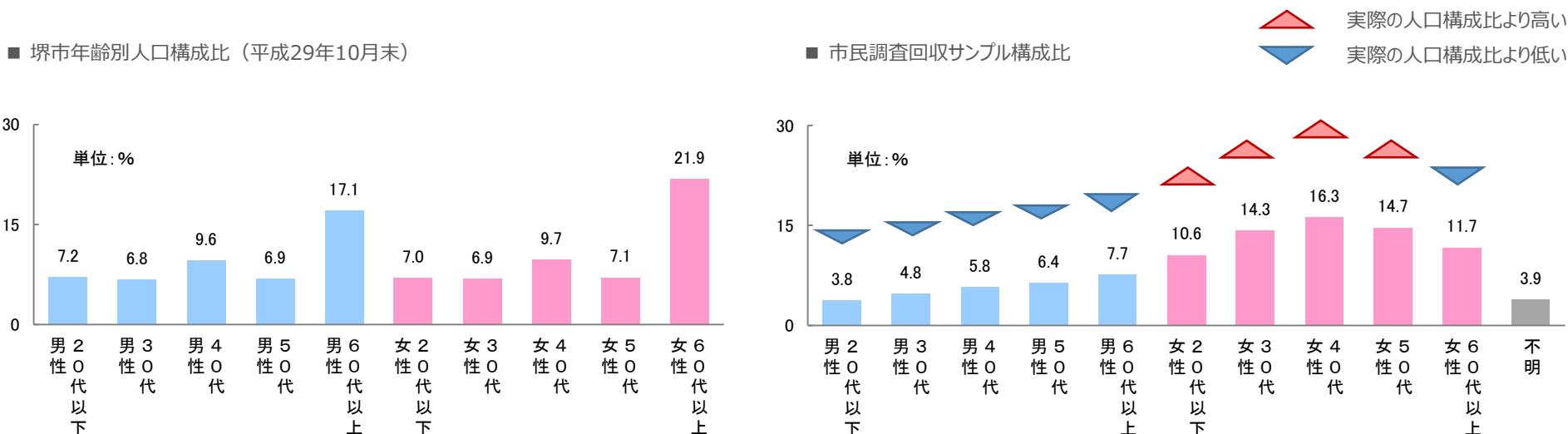
- 調査対象者 堺市在住の18歳以上の男女
- 調査手法 郵送両面調査
- 対象者数 3,877人
- 回収数 1,330サンプル（回収率34.3%）
- 有効回収数 1,326サンプル（回収率34.2%）
- 調査実施期間 2017年11月24日（金）～ 2017年12月11日（月）

【報告書記載の注意点】

- ・図表中の「n」は、各設問の集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「n」を集計母数として算出している。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入した小数点第1位までを表示している。そのため、1つだけ回答を求める設問（単一回答設問）でも、四捨五入の関係上、各選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
1人の回答者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、比率の合計は、100.0%を超える場合がある。
- ・各設問における「不明」とは、回答がなかった無回答をさすものである。

ウェイトバック集計について

- 市民調査においては、各年齢ごとの回収率の違いや標本誤差に考慮して発送数を設定したため、回収サンプルの構成比は実際の堺市の人口構成比とは異なる。
- 堺市の人口構成比と回収サンプルの構成比を比較すると、20代以下男性の人口構成比が7.2%であるのに対して回収サンプル構成比は3.8%で、20代以下女性の人口構成比が7.0%に対して回収サンプル構成比は10.6%であるなどの差異がみられた。
- その為、回答者の性・年代のデータを実際の堺市の性・年代人口構成比に合わせて、データに重み付けをして再集計するウェイトバック集計を行った。



堺市 平成29年10月現在人口

	総数	比率	
		男性	女性
20代以下	99592	7.2%	7.0%
30代	96267	6.8%	6.9%
40代	136281	9.6%	9.7%
50代	98220	6.9%	7.1%
60代以上	275093	17.1%	21.9%

本調査年代別集計（不明回答を除いて集計）

全 体	実数		比率	
	男性	女性	男性	女性
191	50	141	3.9%	11.1%
253	64	189	5.0%	14.8%
293	77	216	6.0%	17.0%
280	85	195	6.7%	15.3%
257	102	155	8.0%	12.2%

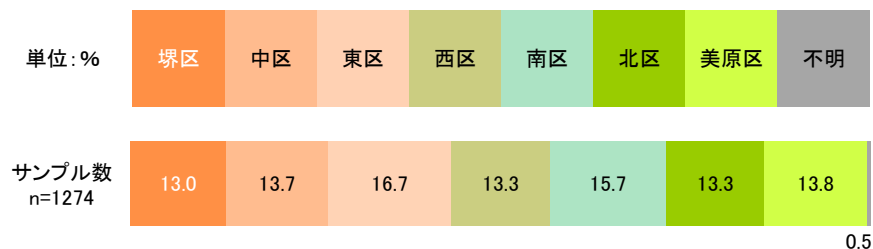
ウェイトバック集計作業

補正後の比率	
男性	女性
7.1%	7.0%
6.8%	6.9%
9.6%	9.7%
6.8%	7.1%
17.1%	21.9%

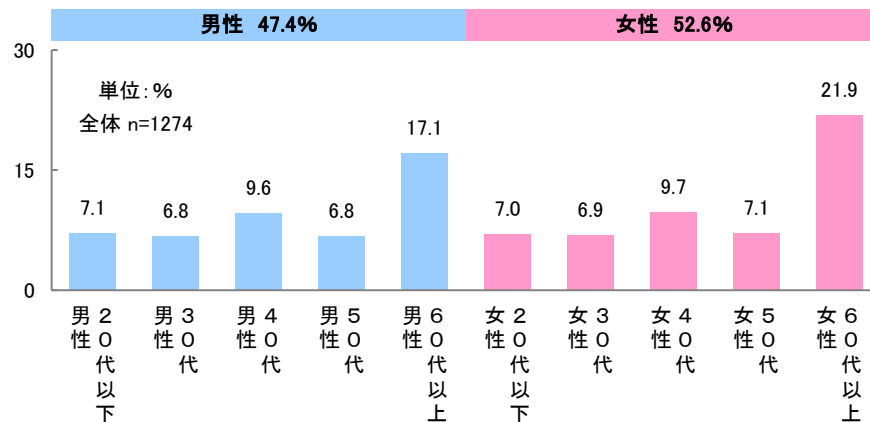
回答者属性

- アンケート回答者の居住区構成比は「堺区（13.0%）」「中区（13.7%）」「東区（16.7%）」「西区（13.3%）」「南区（15.7%）」「北区（13.3%）」「美原区（13.8%）」である。（①）
- 性別×年代は、「60代以上女性（21.9%）」の比率が最も高く、次いで「60代以上男性（17.1%）」、「40代女性（9.7%）」、「40代男性（9.6%）」である。（②）
- 世帯構成は、「二世帯世帯（親と子）（55.3%）」の比率が最も高く、次いで「夫婦のみ（27.3%）」「単身世帯（ひとり暮らし）（10.0%）」「三世帯世帯（親と子と孫）（5.1%）」である。（③）また、単身世帯以外の同居家族については、「65～74歳の方（あなた自身も含めて）」との同居が24.7%、「75歳以上の方（あなた自身も含めて）」との同居が15.4%、「小学生・中学生の子ども・孫」との同居が15.4%、「就学前（0～6歳）の子ども・孫」との同居が11.4%みられる。（④）

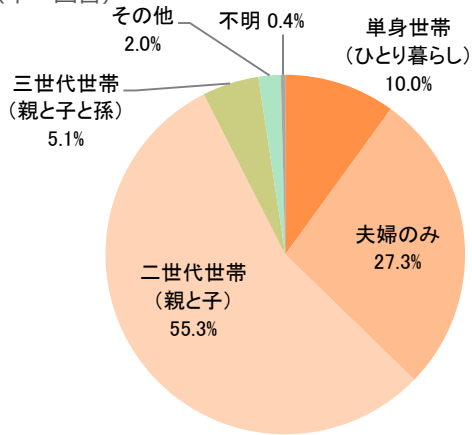
① 居住区（単一回答）



② 性別×年代（単一回答）

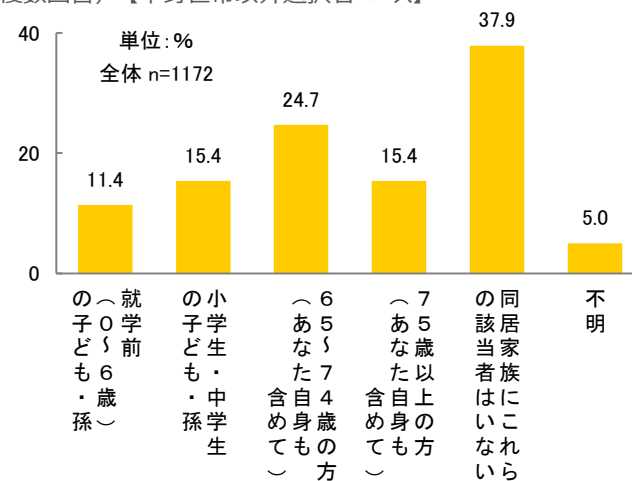


③ 世帯構成（単一回答）



全体 n=1274

④ 同居家族（複数回答）【単身世帯以外選択者ベース】

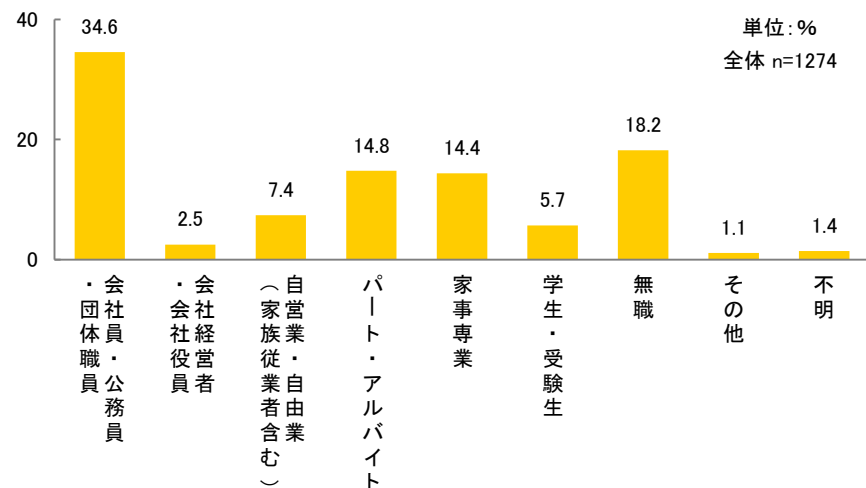


- 堺市居住年数は、「40～50年未満（19.4%）」の比率が最も高く、次いで「30～40年未満（17.3%）」「50年以上（13.6%）」である。（⑤）
- 職業は、「会社員・公務員・団体職員（34.6%）」の比率が最も高く、次いで「無職（18.2%）」「パート・アルバイト（14.8%）」「家事専業（14.4%）」である。（⑥）
- 勤務地・通学地は、「堺市外（47.7%）」の比率が最も高く、次いで「堺区（11.8%）」「中区（9.5%）」である。（⑦）

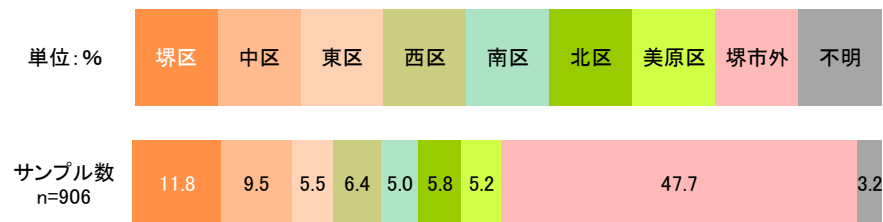
⑤ 堺市居住年数（実数回答）



⑥ 職業（単一回答）



⑦ 勤務地・通学地（単一回答）

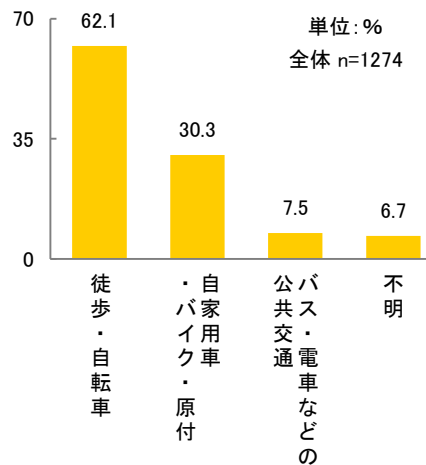


- 堺市の図書館までの所要時間は、「10～15分未満（22.8%）」の比率が最も高く、次いで「15～20分未満（19.6%）」「30～60分未満（16.3%）」である。（⑧）
- 堺市の図書館までの移動手段は、「徒歩・自転車（62.1%）」の比率が最も高く、次いで「自家用車・バイク・原付（30.3%）」「バス・電車などの公共交通（7.5%）」である。（⑨）

⑧ 堺市の図書館までの所要時間（実数回答）



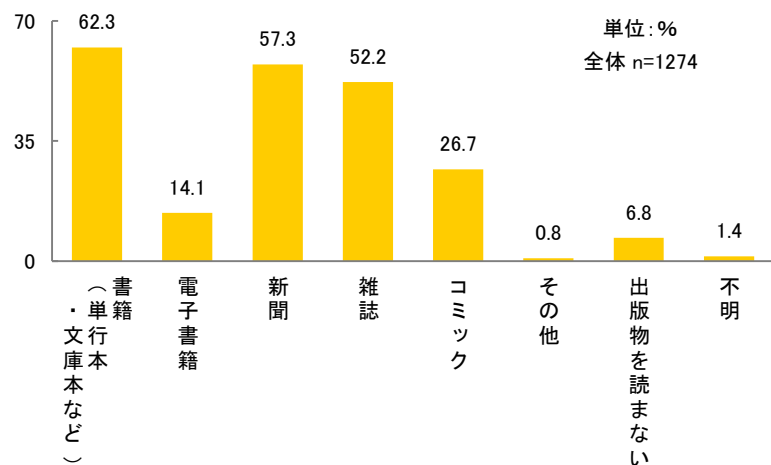
⑨ 堺市の図書館までの移動手段（複数回答）



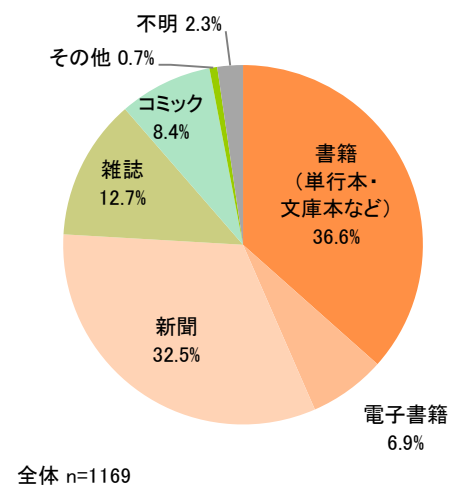
調査結果

- 普段読むことがある出版物の形態は、「書籍（単行本・文庫本など）（62.3%）」の比率が最も高く、次いで「新聞（57.3%）」「雑誌（52.2%）」である。また、「電子書籍」の比率は14.1%である。
- その内、読む時間が最も長い出版物の形態は、「書籍（単行本・文庫本など）（36.6%）」の比率が最も高く、次いで「新聞（32.5%）」「雑誌（12.7%）」である。「電子書籍」の比率は6.9%みられる。

問1. 普段読むことがある、出版物の形態をお聞かせください。（複数回答）

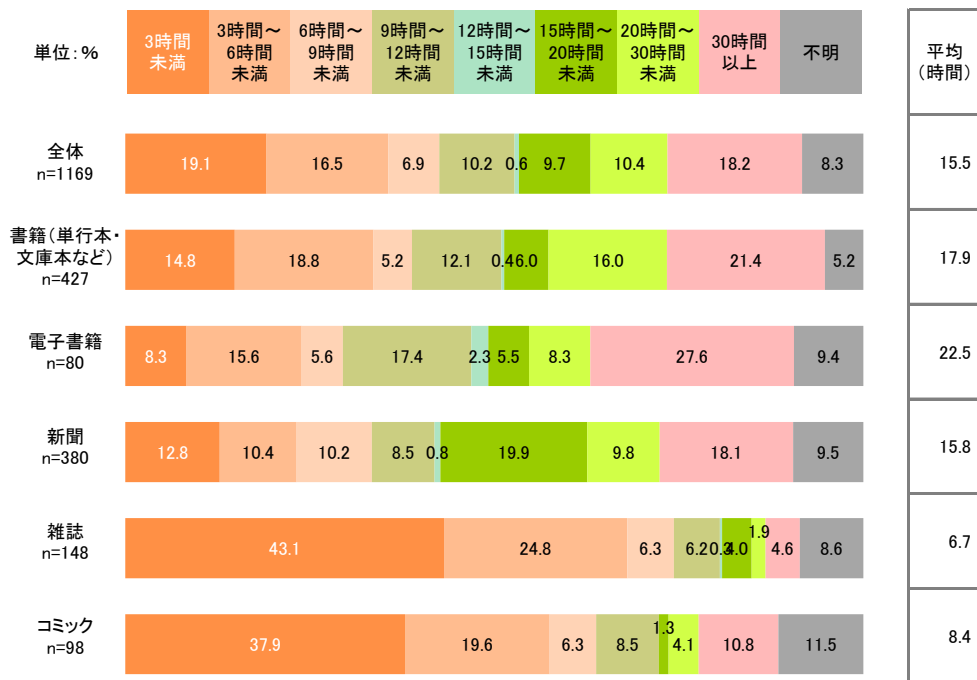


問2. その中で、読む時間が最もながい出版物の形態をひとつだけお聞かせください。（単一回答）

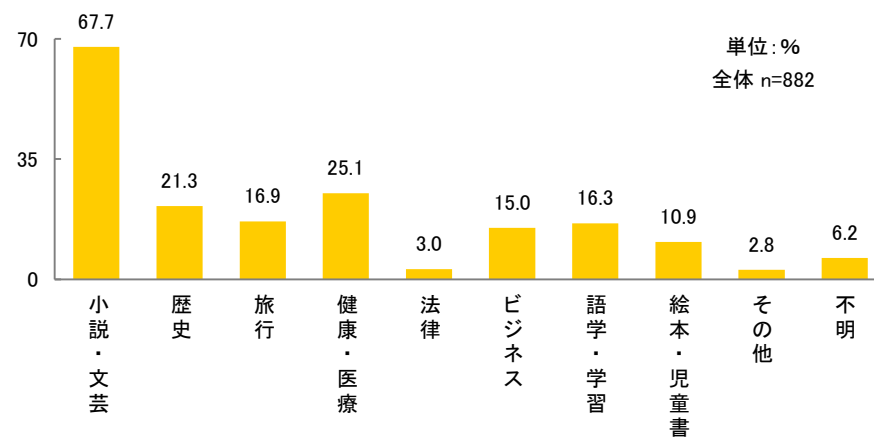


- 読む時間が最も長い出版物の1ヶ月の平均読書時間は、『書籍』が17.9時間、『電子書籍』が22.5時間、『新聞』が15.8時間、『雑誌』が6.7時間、『コミック』が8.4時間である。
- 普段よく読んでいるジャンルは「小説・文芸（67.7%）」の比率が最も高く、次いで「健康・医療（25.1%）」「歴史（21.3%）」「旅行（16.9%）」である。

問3. 前問でお聞かせいただいた読む時間が最もながい出版物について、1か月間にどれくらいの時間、読んでいますか。（実数回答）

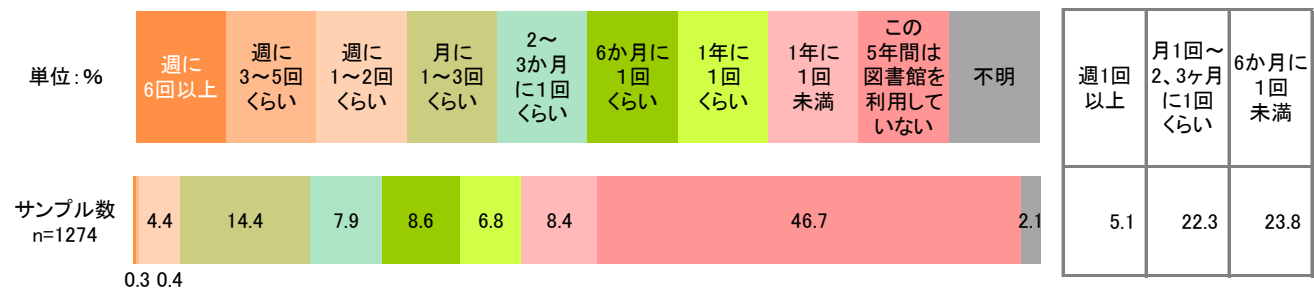


問4. 普段よく読んでいるジャンルをお聞かせください。（複数回答）
【書籍・電子書籍回答者ベース】

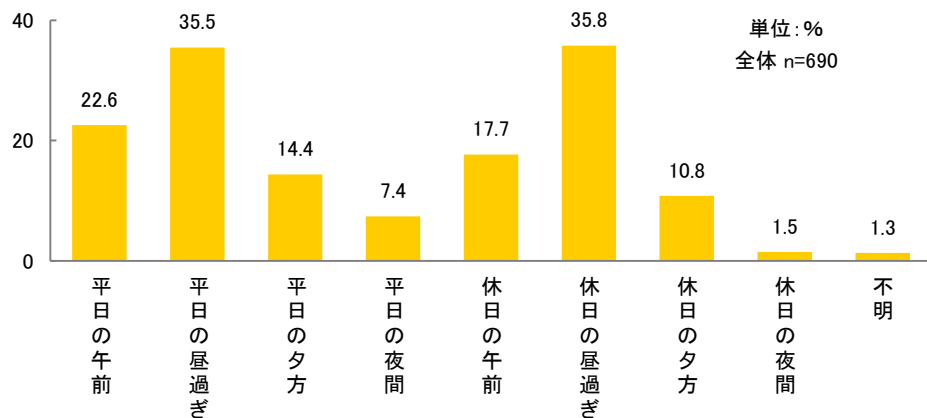


- 直近5年間の図書館利用状況は、「この5年間は図書館を利用していない」が46.7%である。利用者の頻度は「6ヶ月に1回未満」が23.8%、「月1回～2、3か月に1回くらい」が22.3%、「週1回以上」は5.1%である。
- 図書館の利用時間帯は、「休日の昼過ぎ（35.8%）」の比率が最も高く、次いで「平日の昼過ぎ（35.5%）」「平日の午前（22.6%）」「休日の午前（17.7%）」で、平日休日ともに昼前後の利用率が高めである。

問5. この5年間について、堺市内外問わず図書館をどれくらい利用していますか。（単一回答）

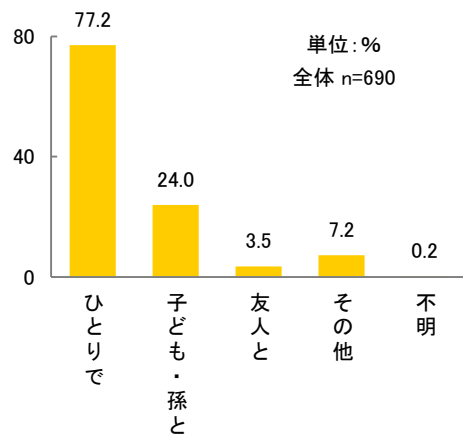


問6. 図書館を利用するのは、どんな時間帯が多いですか。（複数回答）【図書館利用者ベース】

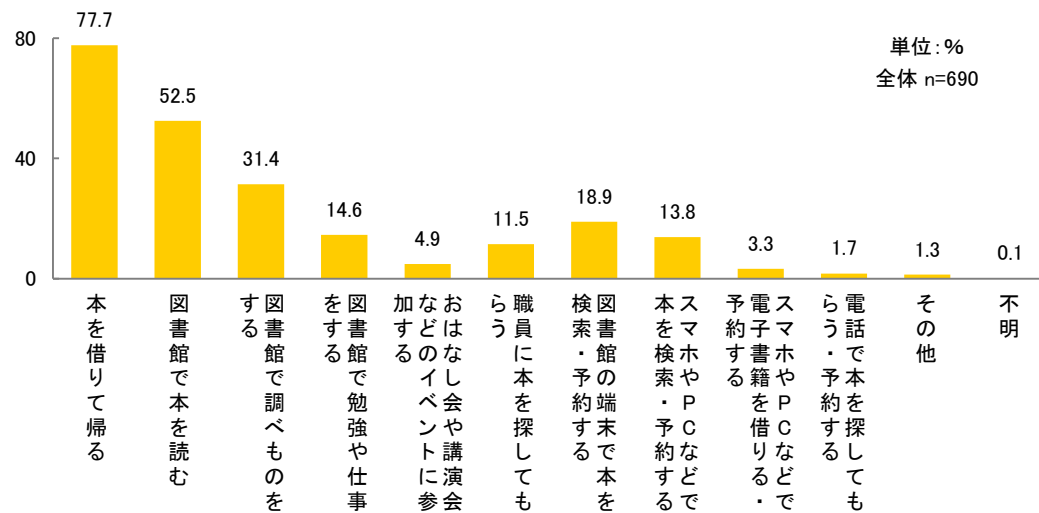


- 図書館への同伴者は、「ひとりで（77.2%）」の比率が最も高く、次いで「子ども・孫と（24.0%）」「友人と（3.5%）」である。
- 図書館のサービスで利用率が30%を超える項目は、「本を借りて帰る（77.7%）」「図書館で本を読む（52.5%）」「図書館で調べものをする（31.4%）」である。比率は高くないが、「図書館で勉強や仕事をする（14.6%）」「スマホやPCなどで本を検索・予約する（13.8%）」などもみられた。

問7. どんな人と図書館を利用することが多いですか。（複数回答）
【図書館利用者ベース】

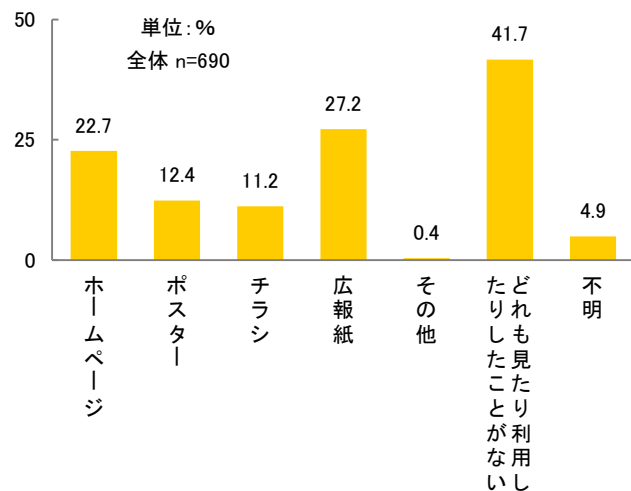


問8. 利用することがある図書館のサービスをすべてお聞かせください。（複数回答）【図書館利用者ベース】

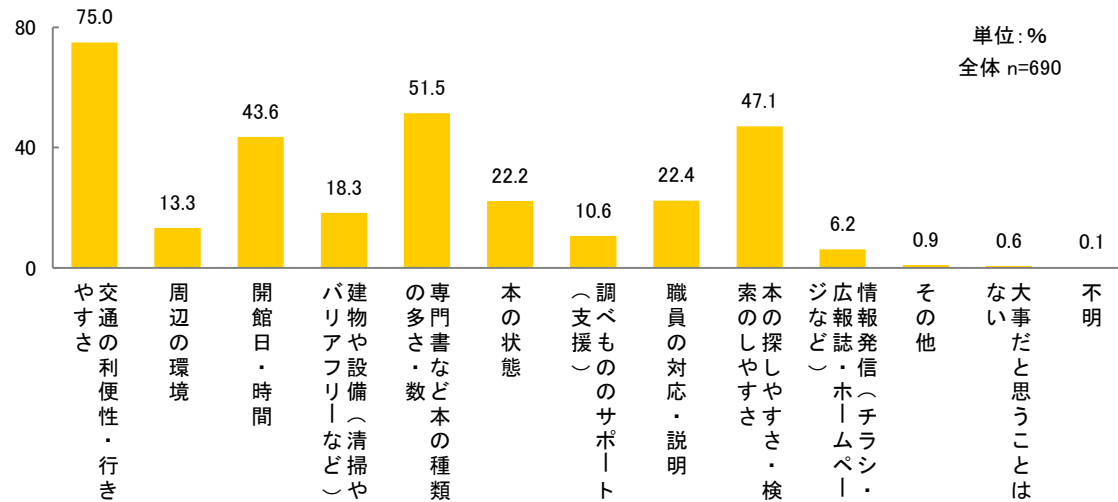


- 図書館からのお知らせや情報をみたことのある媒体は、「広報紙（27.2%）」の比率が最も高く、次いで「ホームページ（22.7%）」である。「どれも見たり利用したりしたことがない」も41.7%みられた。
- 図書館を利用するにあたって特に大事なことは、「交通の利便性・行きやすさ（75.0%）」の比率が最も高く、次いで「専門書など本の種類の多さ・数（51.5%）」「本の探しやすさ・検索のしやすさ（47.1%）」「開館日・時間（43.6%）」である。利便性や専門性に関する項目が上位にみられる。

問9. 図書館からのお知らせや情報で、見たり、利用したりしたことがあるものをお聞かせください。（複数回答）【図書館利用者ベース】

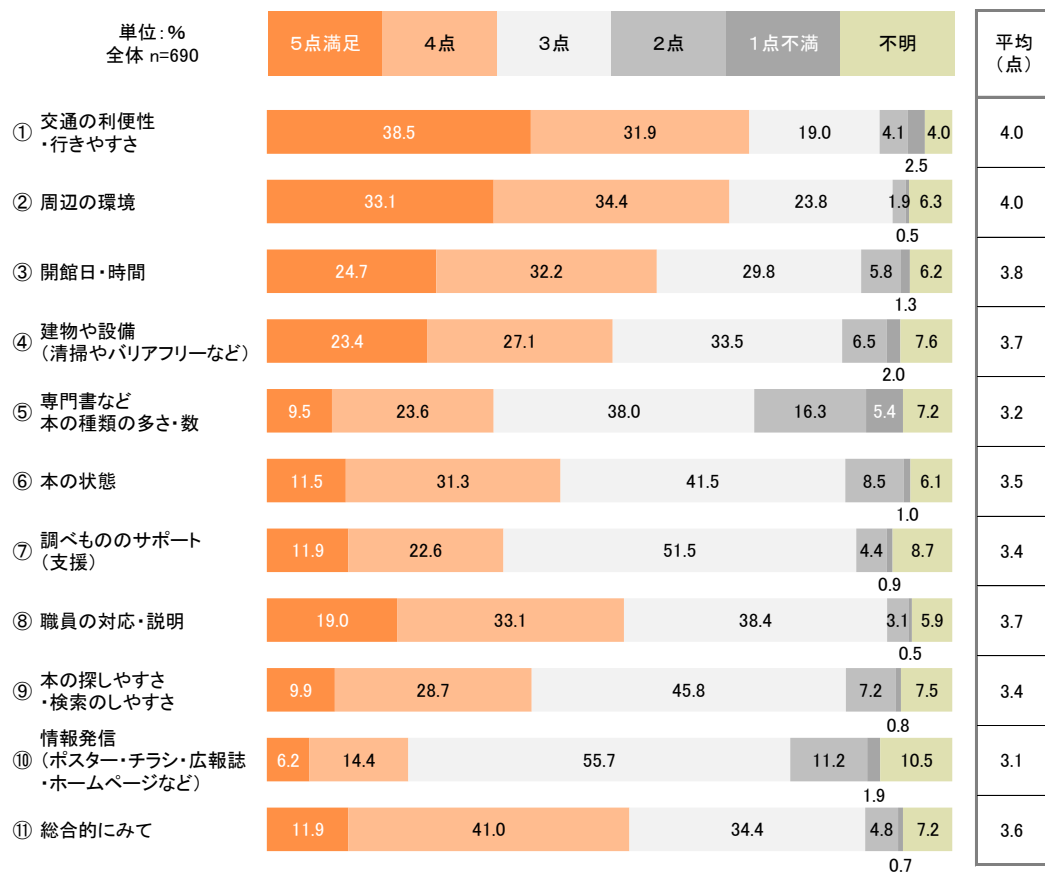


問10. 図書館を利用するにあたって、特に大事だと思うのはどのようなことですか。（複数回答）【図書館利用者ベース】

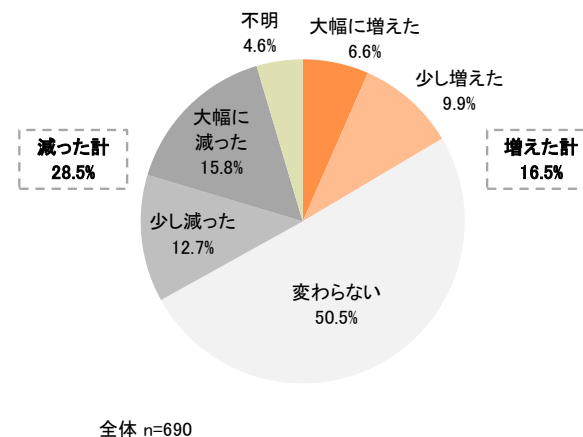


- 図書館に関する総合的な満足度は5点が11.9%、4点が41.0%、3点が34.4%、2点が4.8%、1点が0.7%であり、平均は3.6点である。項目別の満足度平均をみると「①交通の利便性・行きやすさ（4.0点）」「②周辺の環境（4.0点）」が4点を超過しているのに対して、「⑤専門書など本の種類の多さ・数（3.2点）」、「⑩情報発信（ポスター・チラシ・広報誌・ホームページなど）（3.1点）」などは比較的低めである。
- 5年前と比べた利用頻度の変化は、「大幅に増えた（6.6%）」「少し増えた（9.9%）」をあわせた増えた計が16.5%、「大幅に減った（15.8%）」「少し減った（12.7%）」をあわせた減った計が28.5%である。減った層が増えた層を上回っている。

問12. その図書館について、どの程度満足していますか。（実数回答）【図書館利用者ベース】

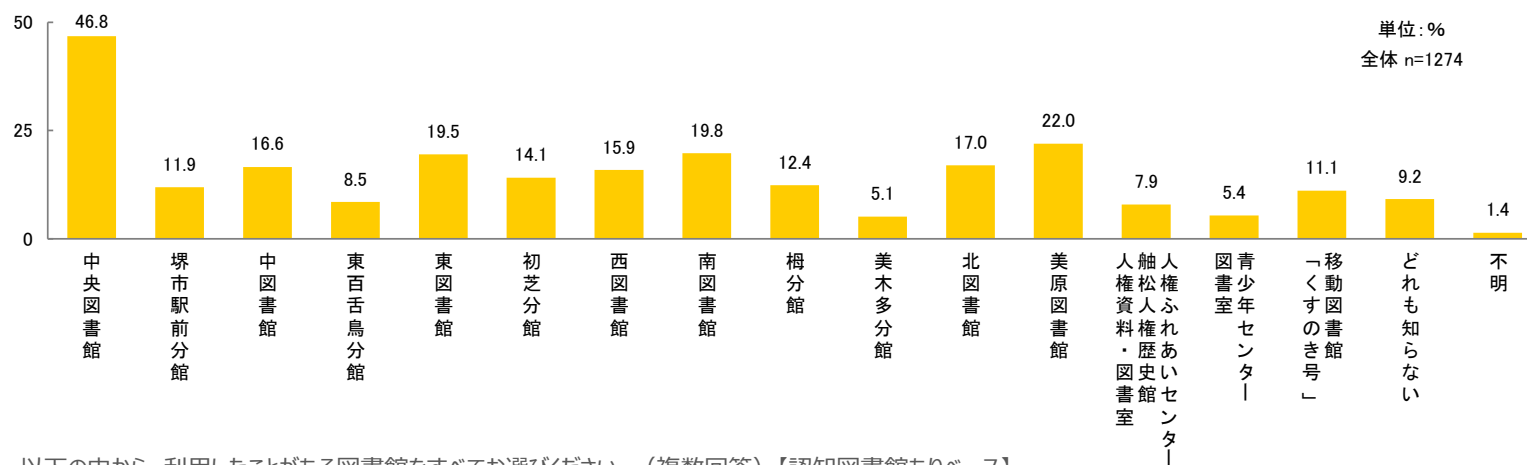


問13. 5年前と比べて、図書館の利用に変化はありましたか。（単一回答）【図書館利用者ベース】

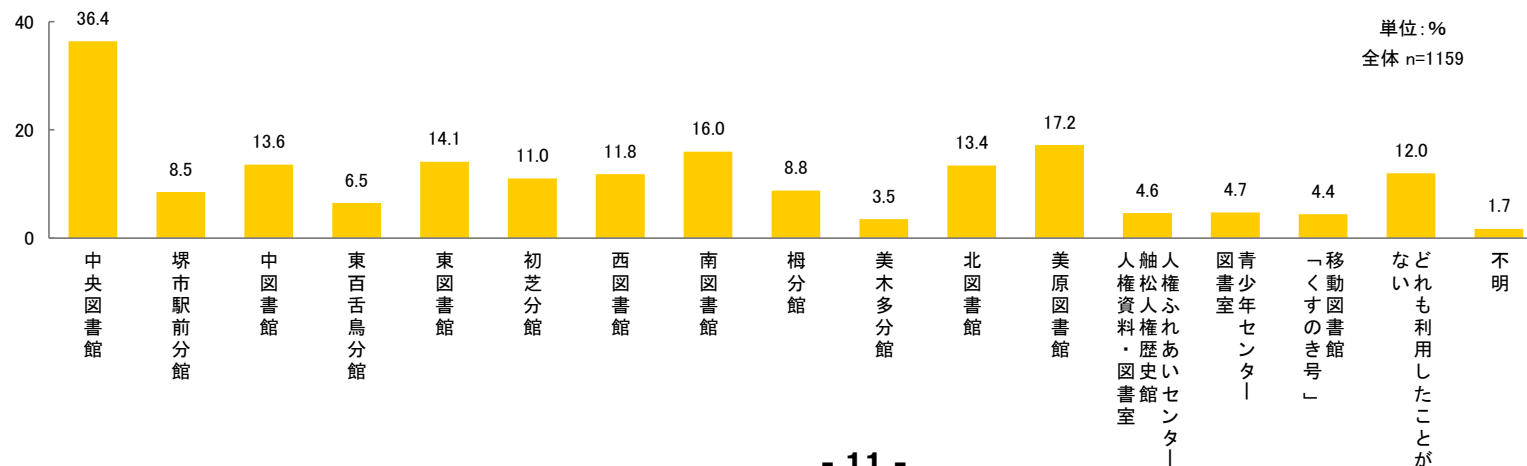


- 堺市の図書館の認知率は、「中央図書館（46.8%）」で最も高く、次いで「美原図書館（22.0%）」「南図書館（19.8%）」「東図書館（19.5%）」である。また、「どれも知らない」も9.2%みられた。
- 堺市の図書館の利用率は、「中央図書館（36.4%）」で最も高く、次いで「美原図書館（17.2%）」「南図書館（16.0%）」「東図書館（14.1%）」である。また、「どれも利用したことがない」も12.0%みられた。

問14. 以下の中から、知っている図書館をすべてお選びください。（複数回答）

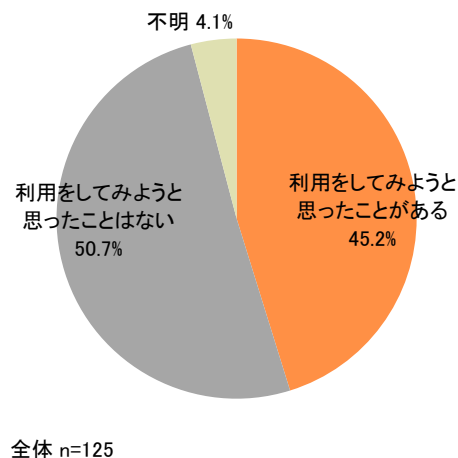


問15. 以下の中から、利用したことがある図書館をすべてお選びください。（複数回答）【認知図書館ありベース】

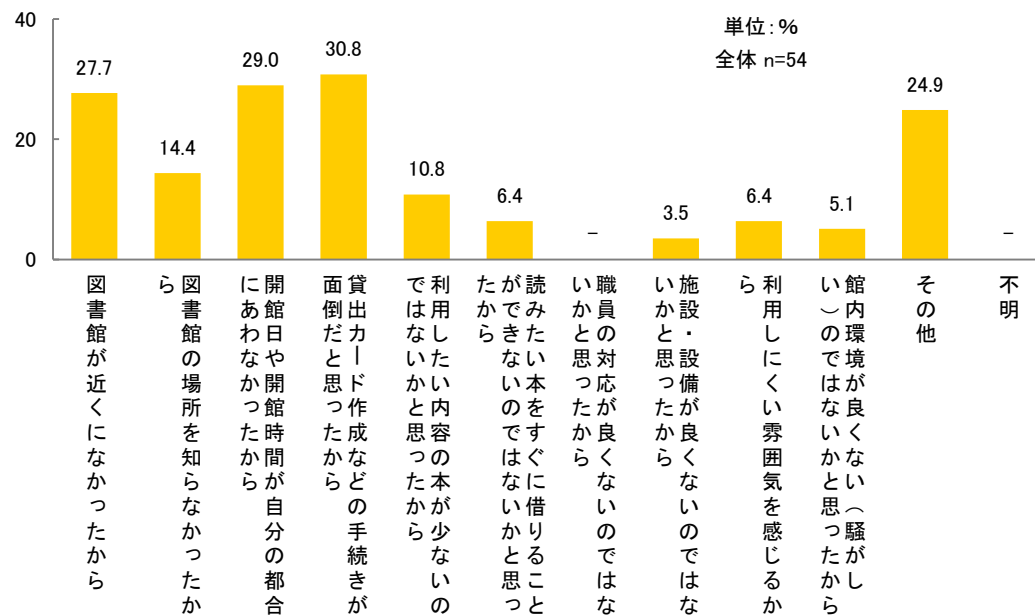


- 堺市の図書館を利用したことがない層は堺市の図書館について、「利用をしてみようと思ったことがある」が45.2%、「利用をしてみようと思ったことはない」が50.7%である。
- 堺市の図書館を利用してみようと思ったことがある人の利用しなかった理由は、「貸出カード作成などの手続きが面倒だと思ったから（30.8%）」の比率が最も高く、次いで「開館日や開館時間が自分の都合にあわなかったから（29.0%）」「図書館が近くなかったから（27.7%）」である。

問16. 堺市の図書館を利用してみようと思ったことがありますか。（単一回答）
【堺市図書館を利用したことがない回答者ベース】

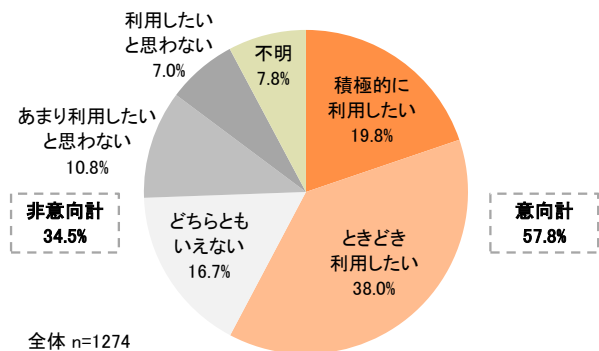


問17. 堺市の図書館を利用してみようと思って、利用しなかった理由をお聞かせください。（複数回答）
【利用してみようと思ったことがある回答者ベース】

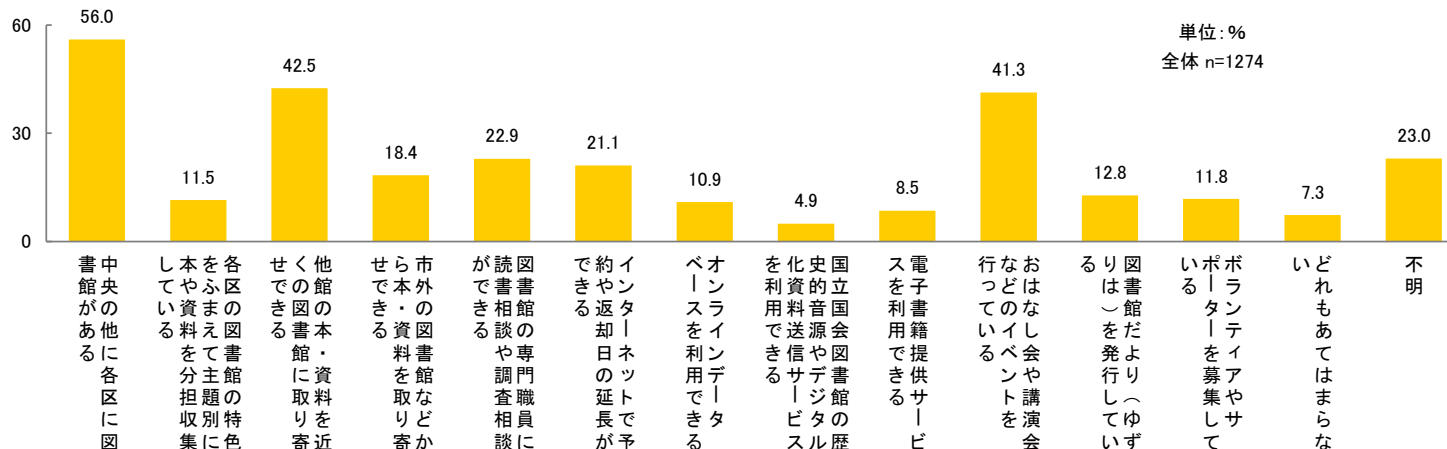


- 今後、堺市の図書館について、「積極的に利用したい（19.8%）」「ときどき利用したい（38.0%）」をあわせた57.8%が利用意向を示している。
- 堺市の図書館のサービスに関する認知率は、「中央の他に各区に図書館がある（56.0%）」で最も高く、次いで「他館の本・資料を近くの図書館に取り寄せできる（42.5%）」、「おはなし会や講演会などのイベントを行っている（41.3%）」、「図書館の専門職員に読書相談や調査相談ができる（22.9%）」の順である。また、「国立国会図書館の歴史的音源やデジタル化資料送信サービスの利用（4.9%）」「電子書籍提供サービスを利用できる（8.5%）」については認知率が10%を下回っており、「どれもあてはまらない（どれも知らない）」も7.3%みられた。

問18. 今後、堺市の図書館をどの程度利用したいと思いますか。（単一回答）

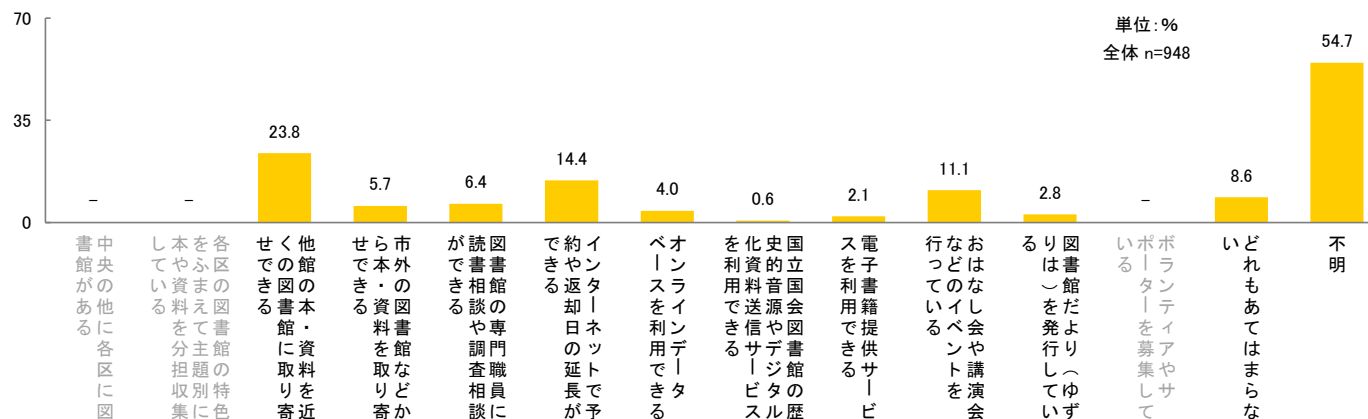


問19. 堺市の図書館のサービスについて、次の①～③にあてはまるものをそれぞれ縦方向にすべてお聞かせください。（1）知っているもの（複数回答）

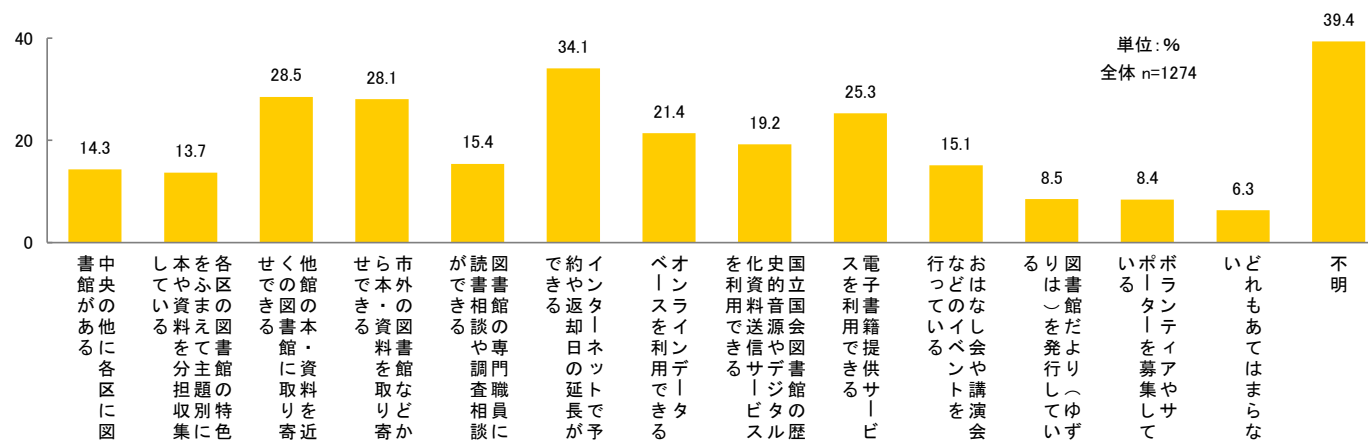


- 堺市の図書館のサービスの利用率は、「他館の本・資料を近くの図書館に取り寄せできる（23.8%）」で最も高く、次いで「インターネットで予約や返却日の延長ができる（14.4%）」である。
- 堺市の図書館のサービスで魅力を感じるものについて、「インターネットで予約や返却日の延長ができる（34.1%）」の比率が最も高く、次いで「他館の本・資料を近くの図書館に取り寄せできる（28.5%）」「市外の図書館などから本・資料を取り寄せできる（28.1%）」「電子書籍提供サービスを利用できる（25.3%）」である。

問19. 堺市の図書館のサービスについて、次の①～③にあてはまるものをそれぞれ縦方向にすべてお聞かせください。（2）利用したことがあるもの（複数回答）【知っているサービスがある回答者ベース】

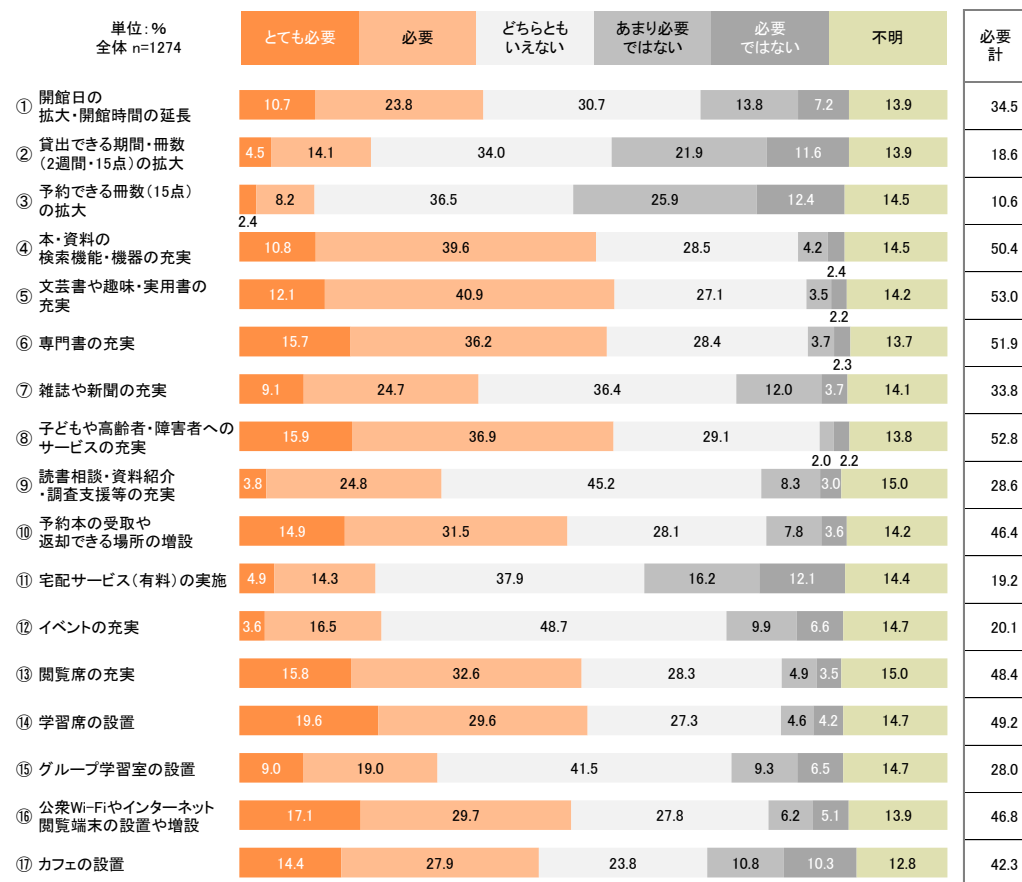


問19. 堺市の図書館のサービスについて、次の①～③にあてはまるものをそれぞれ縦方向にすべてお聞かせください。（3）魅力を感じるもの（複数回答）



- 堺市の図書館に充実が必要と思われる項目について「とても必要」「必要」の比率をあわせた必要計は、『⑤文芸書や趣味・実用書の充実（53.0%）』で最も高い。他に50%を越える項目は『⑧子どもや高齢者・障害者へのサービスの充実（52.8%）』『⑥専門書の充実(51.9%)』『④本・資料の検索機能・機器の充実（50.4%）』である。
- 今後、堺市の図書館について、「積極的に利用したい（22.0%）」「ときどき利用したい（42.1%）」をあわせた64.1%が利用意向を示している。サービス呈示前の利用意向と比較すると6.3ポイント上昇した。

問20. 堺市の図書館にとって、以下にあげる①～⑰のサービスの充実がどの程度必要か、それぞれ横方向にひとつずつお選びください。（単一回答）



問21. 改めてお聞きますが、今後、堺市の図書館をどの程度利用したいと思いますか。（単一回答）

